

2012年12月27日

交野市長 中田 仁公 殿

L A S - E 判定委員会

委員長	寺西 俊一
副委員長	山本 武
委員	杉本 裕明
委員	西寺 雅也
委員	佐藤 徹
委員	西脇 居則

LAS-E判定結果について

1. 申請自治体

大阪府交野市

2. 申請類型区分

第1ステージ・第3ステップ

3. 合否判定結果

L A S - E 判定委員会において、上記類型区分において規格に準拠しているかどうかを討議した結果、貴自治体の取り組みを次のように判定しました。

合 格

なお、所見につきましては、別紙で通知いたします。

所見

<全般的な事項>

交野市の環境に関する取り組みがL A S-E第1ステージ・第3ステップの規格に準拠しているか、また監査チームが適正に監査を行っているかについて討議した結果、合格と判定しました。

環境マネジメントシステムは運用開始から5年が経過し、市、職員、そして監査員ともに安定して取り組まれている様子が窺えます。

<環境基本計画、総合計画について>

交野市の環境基本計画は、市民・事業者・行政の協働で策定されたことで、内容的にも市民にとって身近で分かりやすく、意識改革や仲間を増やすことにつながり、環境基本計画の中で謳われている総合ビジョン「市民一人ひとりが輝く『みんなのかたの』は美しく・やさしく・たのしい環境のまち」の実現につながっていくことが期待できます。

また、その元となる第四次交野市総合計画「みんなの“かたの”基本構想」も、交野暮らしの夢づくり会議や、地域別懇談会など、市民が参加するプロセスを経て策定され、興味深いものとなっています。

ただ一方で、環境基本計画と総合計画が連動しているのかどうか、行政が進める環境政策との整合をとれるのか、全体がばらばらに動いていないかが心配です。

<今後について>

環境基本計画のプロジェクトが動き出すまでにしばらく時間がかかるようですから、まずはL A S-Eの第2ステージにあるような、施策・事業を体系的に整理する、環境保全関係事業予算を把握する、点検し評価する、市民の意識調査をする、市民参加をルール化するなど、環境施策・事業を進めるためのシステムを構築し、管理していくことが必要です。

その上で、環境基本計画とL A S-Eを連動させる交野市独自の第3ステージに進むことを期待します。